

警 察 署 協 議 会 議 事 錄

協議会名	令和7年第3回 宮城県古川警察署協議会
開催日時	令和7年11月7日(金) 午後2時から 午後3時25分まで
開催場所	宮城県古川警察署 大会議室
出席者等	<p>1 協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席委員～宮崎英行会長、瀧川まゆみ副会長、新山明美委員、 畠山光平委員、秀岳芳行委員、滝川絹子委員、 中澤淳委員、日下ゆみ委員 ・ 欠席委員～なし <p>2 警察署側</p> <p>署長、副署長、副参事、警務課長、留置管理課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、警務課員</p>
議事概要	別紙のとおり
備考	

備考 所定の欄に記載することができないときは、別紙に記載の上、添付すること。

別 紙

1 報告事項

(1) 管内治安情勢について

- ア 会計課長
拾得物の取扱状況について
- イ 警務課長
若手警察官のコミュニケーション能力向上について
女性職員研修会について
- ウ 留置管理課長
留置場内での処遇について
- エ 生活安全課長
特殊詐欺の手口について
熊目撃通報に対する対応について
- オ 地域課長
大崎ふるかわ秋祭り警備実施結果について
初任科生の配置について
- カ 刑事課長
大崎市古川台町地内で発生した強盗致傷事件について
- キ 交通課長
運転免許自主返納者向け記念撮影パネルの作成について
- ク 警備課長
他機関と連携した災害対策について
おおさき日本語学校に対する対応について

(2) 質疑応答、意見提言等

【委員】

免許返納は何歳くらいからする人が多いのか。

【交通課長】

令和6年中の自主返納については、95パーセント以上が65歳以上である。

【委員】

子どもの通学路付近で熊が目撃された場合、警察ではどのような対策をとるのか。

【生活安全課長】

小学校等の学校付近で熊の目撃があった際には、時間外であっても警察署から学校の非常時の連絡先として把握している教頭先生等へ連絡し、学校からメール等にて保護者に連絡をとる等の対策をしている。

警察では登下校時間帯における通学路付近の警戒活動を実施している。

【委員】

外国人の交通ルールをめぐるトラブルの対策はとっているのか。

【交通課長】

おおさき日本語学校の生徒を対象として、日本の交通ルールに則った自転車の安

全教室を実施している。

【委員】

自転車に対する交通取締り状況を教えてほしい。

【交通課長】

現在、自転車であっても、悪質性の高い違反に対しては非反則行為として取締りを行っている。

来年4月から自転車に対する反則通告制度が始まれば、ますます取締り件数は増えると思う。

【委員】

マイナ免許証の現状について教えてほしい。

【交通課長】

マイナ免許証を実際に取扱う機会はまだ少ない。今後、免許更新の機会にマイナ免許証に切り替える人が出てくると思う。

マイナ免許証について不明な点があれば、その都度、古川警察署や運転免許センターに問い合わせてほしい。

【委員】

古川秋まつりがテレビで放映されていたが、その際、警備についていた警察官が、出演者に一生懸命声掛けしている子どもに拡声器を貸す様子が映っており、親しみが持てて良かった。

今後も市民に親しまれる警察活動をしてほしい。

【委員】

松山地区では熊を見ても通報しない人が多い。

「熊を目撲した際には通報するように」という広報啓発が必要だと思う。

【生活安全課長】

熊出没時の安全対策等については、交番・駐在所で「交番速報」等のチラシを作成・配布するなどして広報啓発に努めている。

市役所では最近の発生状況を踏まえ、SNSを活用した通報システムを構築した。

熊が目撲された場所には、柿の木があるなどの環境がある場合もあり、その後も熊が同じ場所付近に出没する傾向にある。

古川署管内では、仙台市に比べると熊を見ても通報しないことが多いが、通報してもらうように委員からも話してもらえたとありがたい。

(3) 宮城県速度管理指針の案について（交通課長）

速度管理指針の意義及び策定の経緯、宮城県警察速度管理指針、主な変更点、速度管理指針の公表等について説明がなされた。

(4) 迷惑行為に対する対応結果について（地域課長）

令和7年6月27日開催の警察署協議会において、「公園や路上で鳥の餌付けをしている者がおり、警察から注意指導された後も以前とは違う公園で鳥の餌付けをしている」旨の委員からの情報提供を受けて確認した結果、以前とは注意指導した者とは異なる行為者による餌付け行為を確認し、注意指導した旨の説明がなされた。

(5) 大崎市古川中島町地内の交差点付近における交通渋滞について（交通課長）

同交差点付近における交通事故発生状況、渋滞する時間帯等を確認したこと、信号機の秒数調整では対応できないため、今年度予定の古川東バイパス開通後に交通流を確認して対応を検討する旨の説明がなされた。

(6) 質疑応答、意見提言等

【委員】

交番の警察官が巡回連絡に来たが、警察官が申し立てた交番名と示された書面に記載されていた交番名が異なっていたため、本当の警察官なのか不安になった。

【署長】

調査して、今後そのようなことがないように指導する。

【委員】

行政区長から交番だより発行に対する感謝の言葉を聞いたので伝達する。

警察官採用試験の応募者が激減しているというニュースを見た。

私が物心ついたときから、警察官はよく家に来てくれる身近な存在であった。

事件・事故対応で忙しいかと思うが、年1回くらいは管内の家庭を巡回連絡してもらえると、警察官の存在が身近に感じられるようになると思う。

県職員はカムバック採用制度を開始したそうだが、県警でもカムバック採用のような制度はあるのか。

【署長】

宮城県警での再採用の制度があり、様々な事情で退職した女性警察官が再採用されている。

本県警察官採用試験の倍率は、劇的に減少している。

少子化は避けて通れない課題で、優秀な人材は全国警察や他の公務員と争奪戦になっており、警察官採用募集は喫緊の課題である。

現状のリソースで最大限の力を發揮するためには、組織のコンパクト化が必要となり、交番・駐在所の配置見直しも必要となる。

他方、交番・駐在所の廃止は住民にとって不安なことであり、慎重に検討する必要がある。

しかし、複数の駐在所を統合して交番にすることで、24時間、広い地域を巡回しパトロールすることが可能というメリットもある。

巡回の回数を増やせるように体制を確保したい。

2 事務連絡

次回の警察署協議会は、令和8年2月に開催予定。